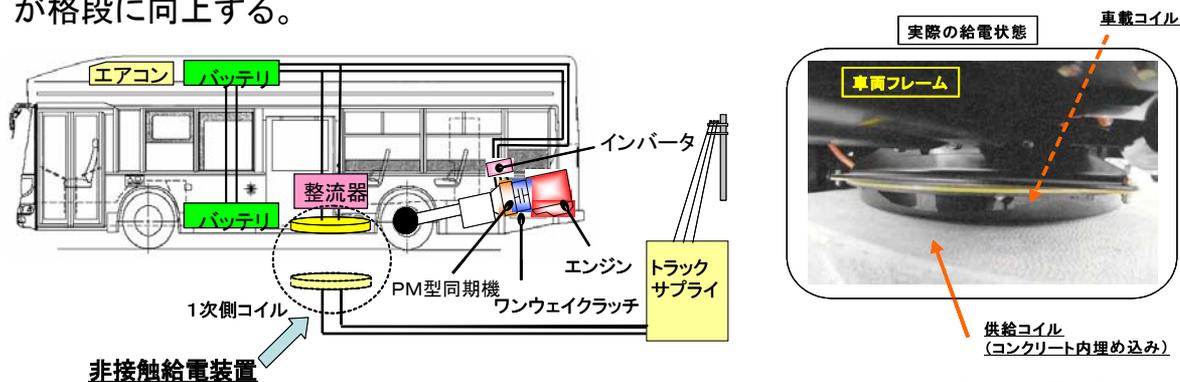


## 非接触給電ハイブリッドバスの概要

- 非接触給電ハイブリッド自動車は、国土交通省が平成14年度から実施している「次世代低公害車開発・実用化促進プロジェクト」において交通安全環境研究所を中核的研究機関として産官学連携で開発・実用化を進めているものである。
- 非接触給電ハイブリッドシステムは、路面等に埋め込んだ給電装置から電磁誘導により、非接触(充電用のコード等を用いない)で車両側のバッテリーに急速に大量充電するものである。
- 外部から充電することにより、電気駆動の割合を増やし、排出ガス低減性能・燃費性能が格段に向上する。



停車中に、路面に設置した給電装置から電磁誘導により非接触で車両側のリチウムイオンバッテリーに急速充電する。

### 【非接触給電ハイブリッドバスの車両諸元】

| 項目      | 諸元値                       |
|---------|---------------------------|
| 長さ×幅×高さ | 10.925m×2.49m×3.285m      |
| 車両総重量   | 15.6トン                    |
| 定員      | 63名                       |
| バッテリー性能 | 電気のみで走行した場合、市街地で約15km走行可能 |



写真提供: 日野自動車株式会社